

新年度授業 3月開始！

文理学院では2019年の授業を3月より開始します。小学校・中学校の新学期より一足早く授業が始まります。『先んずれば人を制す』の言葉のように、早めに取り掛かることによって、得意な教科はさらに高い次元で理解度を上げることができ、苦手な教科は苦手意識を取り除く余裕が持てます。

今年は元号も変わり、時代の変わり目を感じる年になりそうです。皆さんも新たな気持ちで、勉強に、スポーツに取り組んでください。私たち教師も、気を引き締めて新年度に向けて指導していきますので、引き続きよろしくお願いたします。

文理学院 教師・スタッフ一同

《新年度開始日程》 ※詳細は各校舎にお問い合わせください。

山梨県郡内地区7校舎

3月6日(水)から順次

「新小4～新小6、新中1～新中3」の授業がスタート。

山梨県甲府地区7校舎

3月1日(金)から順次「新小4～新小6」の授業がスタート。

3月4日(月)から順次「新中1～新中3」の授業がスタート。

静岡県内16校舎

3月5日(火)から順次

「新小4～新小6、新中1～新中3」の授業がスタート。

※JES (Joyful English School) がある校舎は全地区新小1～。

文理学院指導方針

- 一. 他の追随を許さない徹底した学習指導を実施し、学力を向上させる。
- 一. 徹底指導を通して、集中力・忍耐力を体得させ、強い精神力を養成する。
- 一. どんな困難にも屈せず、自ら果敢に挑戦していく勇氣と自主性を身につけさせる。
- 一. 深い信愛の情を持ち厳しく接することにより、協調性と礼節を重んじる心を培う。
- 一. お互いに協力し合える関係を築かせ、やさしさと弱者を思いやる心をはぐくむ。



上記の指導方針のもと、私たちは授業を行なっています。生徒・保護者の皆様にもこの指導方針をご理解いただきたいと思います。生徒からの意見でよく耳にするのは「なぜ勉強するの？将来英語を使う予定はないのに…」といった言葉です。その時私はこんな答え方をします。「今〇〇さんに働いてもらうとすると、何ができる？例えば、コンビニのレジを打つとするじゃん。それを毎日8時間継続できる？なかなか難しいよね。知識もそうだけど、仕事をやり抜く力が今の君たちには不足しているんだ。だから、勉強やスポーツを通して継続してやり抜く力を磨いているんだよ。もちろん、みんなには無限の可能性があり、将来に備えてその基礎学力を養っているともいえるけど」。生徒は「ふーん、でもやりたくないなー」なんて返事です。

だからこそ、私たち文理の教師は、生徒のやる気を引き出す授業と言葉がけを心掛け、「学力と人間性をはぐくむ塾」を合言葉に教えています。

新たな決意で臨みましょう！ 自分を変えるチャンス！チャンス！

小学生の皆さんへ

私の担当していた校舎には、文理の授業がある日には家に帰らず、直接文理の校舎にやって来る生徒がいました。文理に来てからの生徒の行動は①その日の宿題をやる。②小学校・文理の授業内で解らないところを質問する。③文理の授業開始20分前くらいから外で遊ぶ!!

③を除き、小学生としては大変良く文理を活用できていると思います。小学生のうちに身につけるべき習慣「やるべき事は必ずその日にやる」「理解できていないことは気持ち悪いのでその日に解決する(質問する)」をクセにしてください。

中学生の皆さんへ

文理の校舎がある場所にもよりますが、通学路にある場合、学校帰りに自習室を使う生徒がたくさんいます。文理の自習室を使う生徒の中には、自宅に帰ると様々な誘惑があるので、それを断ち切るために利用している生徒もいます。本当は家庭学習が望ましいと思いますが、せっかく文理に通塾しているのですから、塾を使わない手はありません。もちろん、文理の自習室に来れば質問も自由自在ですよ。自ら勉強する環境を整えることも大切です。学年が変わる今、自分の行動を変え、結果を変えるチャンス！チャンス！

静岡市に4校舎目 豊田中学校より徒歩3分

豊田校 開校

春期講習より授業開始

お近くにお知り合いの方がいらっしゃいましたら是非ご紹介ください。

受付電話番号 054-204-6755(中原校)

静岡県静岡市 豊田校 校舎長 望月 淳先生の抱負!!

この3月より、新規開校となる豊田校の責任者になります望月淳と申します。学習塾で指導すること23年目になります。私はこの文理学院で成長しています。生徒・保護者の皆様に対する姿勢から、自分自身の人生観まで変わりました。文理学院には、生徒一人ひとりに「心から役に立ちたい」という思いを持つ教師が(私も含め)大勢います。私たちを信頼してくださる生徒・保護者の皆様の期待にも教師一丸となって応えています。「文理に入ってよかった!」と言われるよう毎日トコトン、生徒・保護者の皆様と向き合っていきます。一緒に成長していきましょう!

各地区の先生から受験生へ熱血応援メッセージ

受験生として過ごした1年がもうすぐ終わります。文理学院のそれぞれの校舎で、最後の追い込みで必死に机に向かっていていると思います。この1年様々なことに挑戦してきました。「部活と並行しながらの受験勉強」「暑い夏の講習、合宿」「様々なテスト」また受験校をどこにするか悩んだ生徒もいるでしょう。それらを全て乗り越えてここまでやって来ました。この1年で心も体も大きくなり大人の階段をまた一歩上ったと感じます。この春に合格を勝ち取るためにやり抜きましょう。君たちならできる。

各地区を代表して6人の先生から応援メッセージです。

山梨県都留市 東桂校 井上 良太先生

中学3年生のみなさん！各々受験に向けて動いていると思いますが、受験日が近づくにつれて、不安でいっぱいになっている人はいませんか？そんな時は、文理で過ごした日々を思い出しましょう！友達と一緒に勉強したこと、課題に一生懸命取り組んだこと、先生にたくさん質問したこと、夏の合宿を乗り越えたこと。できなくて悔しい思いをしたり、成績が上がってうれしかったり。受験に向けてこんなにがんばってきたのだから、自信をもって本番を迎えよう。残りわずかな時間、1分1秒を無駄にするな！

山梨県富士河口湖町 河口湖校 白須 徳寛先生

そろそろ受験勉強も大詰め。持てる知識を完成させる時です。そんな中で、今年は前期入試が例年になく倍率の高い厳しい状況となりました。前期を希望している生徒は前期の練習を学校や塾で行い、並行して後期の準備もしていくという忙しい毎日を頑張っていたと思います。後期を希望している生徒も来たる日に備えてこの冬休みも着々と準備を進めてきたと思います。あと一か月頑張れば晴れて高校生です。あと少しです。あと少しで一区切りです。この期間でまだまだ伸びます。一緒に頑張りましょう。

山梨県甲府市 大里校 白石 大助先生

いよいよ入試です。皆さんにとって入試のような大変なことって今まであったでしょうか。その大変という字は「大きく変わる」と書きます。この入試は皆さんにとって試練であると同時に、「大きく変わる」最高の舞台なんです。まさに「艱難辛苦汝を玉にす」となるわけです。試験当日は緊張もするでしょうし、心を折りにくような問題や時間を削りにくような問題もあるでしょう。でも、そんなことに振り回されないで「この緊張マジやばいwww」「全受験生を敵に回す問題キター(°▽°)ー！」などと脳内でつぶやいてみてください。入試では、これくらいの明るさがあっていいんです。とにもかくにも自分の持っているチカラを出し切ることだけに集中してください。そして、これを読んでから最低3時間は勉強を(笑)

静岡県御殿場市 富士岡校 伊藤 隼人先生

長いようで短かった受験勉強も残りわずかとなりました。志望校も決まり、あとは合格をつかむための追い込みの時期になってきましたね。今は大変かもしれませんが、この頑張り・努力は一生の財産になります。残り一か月。この一か月を頑張れるかがどうかが一生を決めます。ここで踏ん張ることができれば、今後の人生においてもここぞという時に頑張れるでしょう。

そしてみなさんに特に伝えたいことは、「受験勉強をできることはとても幸せなこと」だということです。高校生活からは義務教育ではなくなります。高校に進学できるのもお金を払ってくれるお家の方のおかげです。最後の一か月、感謝の気持ちを持って頑張ってください。応援しています。

静岡県静岡市 唐瀬校 山西 久仁彦先生

いよいよですね。
一歩前に踏み出す勇気を持って、志望校を決めました。ただ前を見て全力でここまで来ました。
もう、自分に自信が持てるまで来ましたか？まだですか？
今の君たちには、勉強している一つひとつのことを自分のものにするという強い信念があるから、そのままやり続けていけば必ず自信がつくと思います。ガムシヤラになれる力とやり抜く力は「人生で最も自分を強くする今の時間」に活かされているはず。君たちは文理生ですから！！
君たちの周りにはいつも、自分をやる気にさせてくれる仲間が、自分を引っ張っていてくれる先生が、自分を支えてくれる親がいました。入試は一人ですね。『絶対に合格するという強い信念』を持って全力で自分の道を駆け抜けてください！！

静岡県富士宮市 富士宮西校 田中 穂高先生

ふり返れば、君たちの背中を押してくれる人がいる。周りにもたくさんの仲間がいる。

たとえ不安でも、今君たちがここで頑張っていることが素晴らしいことなんだ。

君たちがやってきたことがすべてなんだ。それでも志望校合格まで、まだやれることはある。一つひとつをしっかりと自分のものにしていこう。前を向き、燦然と輝く未来を描いて突き進め。

あと少し、君たちがやり遂げるまで支え続けてくれる多くの存在に感謝し、駆け抜けよう！！

自分を信じて、新しいステージへの切符をつかみ取れ！！

中学1・2年生は学年末テスト真っ最中！ 終わり良ければ全て良し!?

文理だより編集後記

今年から文理だより(小中学部)を担当します近藤貢一と申します。よろしくお願ひします。文理だよりももうすぐ節目の100号を迎えます。今まで文理だよりを発行してきた川上先生、小倉先生に負けないうががんばります。本当は私は文章を書くのが非常に苦手な人間です。なので今回の編集で自分の文才のなさを再確認して仕事をしています。

日頃から、生徒には「苦しいことから逃げない、それを乗り越えてこそ成長がある」と話していますので、それを自問自答しながら書いています。この1か月で言葉の使い方に関する本を3冊読んでこの仕事に臨みましたが、今のところ成果は・・・出ていません。残念。回を重ねるごとにより良い文理だよりを作っていくつもりですので、是非その成長を温かく見守ってください。